

地域学校協働活動「旅する蝶を呼ぶ～アサギマダラプロジェクト」

宇部市立常盤小学校

「アサギマダラの飛来する地区づくり」をめざし常盤小学校を核にした取組は4年目を迎える。アサギマダラプロジェクトリーダーの山根好子氏を中心とした団体※と連携して推進している。（※「うべEDS推進協議会」「まちづくりサークル人輝和（ときわ）」「わくわく常盤」）学校運営協議委員会長、コミスク会長、保護者のOBOGの方々、元教頭もメンバーに加わっている。フジバカマの育成とアサギマダラ飛来の自然観察の体験を通して、SDGsの心を芽生えさせることを大きな目的としている。

【協働活動の主な流れ】

1 3年生を中心としたフジバカマの植え付け（令和3年6月7日）

常盤小学校の中庭や体育館前に、フジバカマ専用の花壇を3箇所つくっている。地域の方（フジバカマ育成応援隊）が中心となって耕地し、「アサギマダラが好む花＝フジバカマ」を3年生が地域の方（フジバカマ育成応援隊）と植え付ける。同日、山根さんが講師となって学習会を開きアサギマダラの生態を調べていくという流れである。毎年、3年生がフジバカマの育成に携わる取組は教育課程上（総合的な学習、地域連携カリキュラム）にも位置付いてきた。



2 園芸委員会を中心とした観察活動の推進（9月下旬～準備）

アサギマダラの飛来に備えた3年生の学習と並行して、園芸委員会が中心となって、全校体制で観察を行う方法を観察した。常盤小の誰もが参加でき、且つ、気候と飛来数のデータが取れるようにした。発見報告所を設置し、毎日、観察者がアサギマダラの数を1～4匹までは色シール、5匹以上は白シールを貼って可視化するようにした。この計画を、園芸委員会が全校放送で広げていった。



3 アサギマダラ第1号飛来（令和3年10月6日）

アサギマダラの飛来は気温と関連する。今年は残暑が残り観察会に間に合うか心配されたが、気温24℃になった10月6日、待ちわびた1匹目が飛来した。2階の窓から教室に舞い降りた瞬間、子どもたちが大喜びした。



4 アサギマダラ観察会（令和3年10月12日）

講師に山口県自然観察指導員の嶋田紀和（しまだとしかず）先生をお招きし、画像を使ってアサギマダラの特徴を学習した後、フジバカマ花壇周辺で観察会を行い、地域の方と児童が一緒になってアサギマダラの飛来する様子を観察した。その後も、広報やメール配信での噂が広がり、地域の方々がカメラをもって学校へ訪れてくださる日々が続いた。休み時間に児童も一緒に観察を楽しむ様子が見られた。1日に24匹飛来してきた日もあった。今年が最高に飛来数が多く、フジバカマの植栽を増やしたことも関係がありそうだという声が聞かれた。努力が報われた喜びも分かち合った。



5 アサギマダラパネル展（令和3年11月27日～12月24日）

11月27日の土曜参観日に合わせて、体育館入口でアサギマダラパネル展を開催した。地域の方が手作り、児童による観察記録や飛来したアサギマダラに関する写真を展示して下さった。また、育成応援隊の皆さんがフジバカマの刈り込み作業を行って下さった。

